

□主な内容

**【募集中！第 1 回EST交通環境大賞】**

EST 普及推進委員会と交通エコモ財団は、地域の優れた交通環境対策の取組みを表彰する EST 交通環境大賞を創設しました。自治体、企業、市民団体等による自薦のほか、有識者による他薦も受け付けます。応募期間: 8 月 3 日～10 月 16 日

**【札幌・仙台・名古屋で EST 創発セミナーを開催します】**

9 月 17 日の札幌から、10 月 27 日の仙台、11 月 25 日の名古屋まで、全国 3 箇所で EST 創発セミナーを開催します。参加希望者は EST ポータルサイトで登録をお願いします。

□目次

1. 寄稿①「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 37 回)

●「大変化時代の環境自立都市を求めて」

【首都大学東京都市環境科学研究科 観光科学域 教授 秋山哲男】

2. 寄稿②「地方から全国に向けた情報発信！」(第 37 回)

●「EST実現を目指した豊中市の取組み」

【豊中市環境政策室 副主幹 土井博司】

3. ニュース／トピック

●EST交通環境大賞の募集開始について【EST 普及推進委員会、交通エコモ財団】

●地域公共交通活性化・再生総合事業／自動車交通関係 バストプラクティス集のホームページ公開について【国土交通省】

●平成 21 年度グリーン物流パートナーシップ優良事業の募集開始！【国土交通省】

●平成 21 年度都市型コミュニティサイクル社会実験公募の選定結果について【環境省】

●8 月 1 日から「モコバス」運行開始【守谷市】

●カーシェアリングシステム「カーシェア・つくば」導入【筑波大学】

●「乗ろう鉄道、減らそう CO2」をテーマとしてポスターを掲出します【関西の鉄道事業者 15 社局】

●自転車共同利用実験「Poro-cle」の自転車利用モニター募集【株式会社ドーコン】

- 「急速充電器インフラ推進協議会(仮称)」の設立について【日産自動車株式会社、三菱自動車工業株式会社、富士重工業株式会社、東京電力株式会社】
- 岡山県のバイオエタノール実証実験に参加【三菱自動車工業株式会社】
- 渋滞緩和対策の効果事例について【東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社】

#### 4. イベント情報

- 北海道 EST 創発セミナー ～市民と協働した交通環境まちづくりを目指して～  
【2009/9/17】
- 東北 EST 創発セミナー =エコ通勤のすすめ= ～環境にやさしく、地域経済・社会を支える交通とは～【2009/10/27】
- 中部 EST 創発セミナー ～全国へ発信！ESTの普及推進に向けた中部地方の取り組み～【2009/11/25】
- 地方圏生活交通の維持・再生における行政・事業者の役割と連携【2009/8/25】
- 第 84 回交通学講習会(大阪)「低炭素社会に向けた環境的に持続可能な交通(EST)のアプローチ」【2009/10/2】

#### 5. その他

- 記事募集中！

---

#### 1. 寄稿①「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 37 回)

- 「大変化時代の環境自立都市を求めて」

【首都大学東京都市環境科学研究科 観光科学域 教授 秋山哲男】

エコモ財団の役割は、交通環境問題と交通バリアフリーの問題に特化した形で様々な研究を行うことであり、ある程度の成果をあげてきている。これとは別に、最近地方の疲弊した都心部を見るにつけ、環境とバリアフリーの統合化だけでは立ち行かないことも感じている。つまり、環境やバリアフリーの対策が進んでも、他方で中心市街地の衰退が進行し、都市そのものが壊れてゆく事態が進行している。

この問題は都心部と郊外の関係の歪み、言い換えれば中心商店街が疲弊した原因は、店舗自身の努力の不足はもちろんあるが、自動車文明が生み出した郊外ショッピングセンターの立地など都市構造が分散型都市へと歩み始めているところにある。これ自体が、自動車の依存度を高め環境悪化の大きな流れを作るとともに、中心市街地も空き店舗をはじめ徐々に衰退が進行し人々の生活をも脅かしている。

この点から、新しい環境自立都市を作る努力が強く求められる。1970 年代のブラジルのクリチバ市は、土地利用と交通システムを変える方法を提案して自動車の分担率を極めて低く抑え、しかも利便性の高いバリアフリー化された公共交通も実現し、都心部を豊かに造り上げてきた。これは 30 年間単純なことを継続することによって達成したものである。

これからは環境自立都市、つまり地球温暖化を止める根本的な対策にチャレンジする都市づくりがこれからの課題である。環境自立都市とは、エネルギーをできるだけ使わない都市であり、自らが必要なエネルギーをつくりだす都市の発想である。

---

## 2. 寄稿②「地方から全国に向けた情報発信！」(第 37 回)

### ●「EST実現を目指した豊中市の取組み」

【豊中市環境政策室 副主幹 土井博司】

豊中市は平成 17 年 12 月に EST モデル事業地域として選定を受け、EST の普及啓発事業と具体的な取組みを行うための計画を策定してまいりました。平成 21 年度からは 10 番目の EST 推進地域として登録を受けて、地球環境にやさしい交通への取組みを進めています。

はじめに、そのキャッチとして E を「エコで」、S を「スマイル」、T を「たのしいのりもの」と読み替えて、EST のイメージを発信しています。そして、普及啓発事業を進めながら具体的な事業の一つとして、今年度に千里中央地区で公共交通と連携したカーシェアリングを導入し、自動車利用から公共交通利用への転換を試みます。

この地区は公共交通の集積ターミナルであり、周辺地に商業・業務地と住宅地がある公共交通の利便性が非常に高いところです。平日にはビジネス利用を見込み、土・休日にはファミリー利用を見込んでいます。カーシェアリングは、年間の自動車利用コストを約 80～90% に削減することができるとされています。自動車保有からカーシェアリングに転換いただき、通常の移動は充足している公共交通を利用していただき、自動車が必要な時にはカーシェアリングというように利用目的に見合った交通手段を選択していただく、体験型の MM として位置付けています。すでに実施されている東京や京都では自動車利用が減り、公共交通の利用が増加していることから、豊中市で開始されるカーシェアリングも同様な効果を期待しています。そのような既存の公共交通と新しい交通手段であるカーシェアリングを活用して、EST の実現化を図ってまいります。

---

## 3. ニュース／トピック

### ●EST交通環境大賞の募集開始について【EST 普及推進委員会、交通エコモ財団】

EST 普及推進委員会と交通エコモ財団では、環境にやさしい交通を目指す取組みを表彰するEST交通環境大賞の募集を開始しています。応募期間は、8 月 3 日～10 月 16 日です。自治体、企業、市民団体等による自薦のほか、有識者による他薦も受け付けています。皆様からの応募を期待しています。

<http://www.estfukyu.jp/kotsukankyotaisho.html>

●地域公共交通活性化・再生総合事業／自動車交通関係 バストプラクティス集のホームページ公開について【国土交通省】

平成 20 年度に創設された「地域公共交通活性化・再生総合事業」を活用して全国各地でさまざまな創意工夫ある取り組みが行われています。国土交通省は、バスや乗合タクシー等に関する取り組みを行う上で参考となる「バストプラクティス集」を作成し、ホームページにて公開しましたので、お知らせいたします。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha03\\_hh\\_000062.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha03_hh_000062.html)

●平成 21 年度グリーン物流パートナーシップ優良事業の募集開始！【国土交通省】

国土交通省では「グリーン物流パートナーシップ会議」において推進決定された事業の中から特に優良である事業に対して国土交通大臣表彰及び国土交通省政策統括官表彰を行うため、平成 21 年 8 月 20 日から優良事業を募集しています。本表彰につきましては、表彰事業の発表を国土交通省から行った後、「グリーン物流パートナーシップ会議」の場において、表彰式を行う予定です。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01\\_hh\\_000036.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/tokatsu01_hh_000036.html)

●平成 21 年度都市型コミュニティサイクル社会実験公募の選定結果について【環境省】

環境省では、「都市型コミュニティサイクル社会実験」を実施する企業等を選定しました。近年、欧米では、路上広告を主たる収入源として、高密度に道路上に貸出拠点（駐輪施設と支払い用の機器）を設置し、低価格で利用可能なコミュニティサイクルが定着しつつあります。しかし、我が国へ導入するには、自治体の費用負担の受容性、違法駐輪の量、屋外広告の価値、坂の多い地形等の欧米と異なる特性があることから、これらを踏まえた日本型のシステムを構築していく必要があります。そこで、我が国へのコミュニティサイクル導入方策の検討を行うための社会実験を行います。

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=11432>

●8 月 1 日から「モコバス」運行開始【守谷市】

守谷市地域公共交通活性化協議会では、平成 21 年 8 月 1 日（土曜日）から 3 年間の計画で、コミュニティバス「モコバス」の運行を実証実験として開始しました。

<http://www.city.moriya.ibaraki.jp/bus/moco/>

●カーシェアリングシステム「カーシェア・つくば」導入【筑波大学】

筑波大学では、本学の学生・教職員を対象としたカーシェアリングシステム(CS)「カーシェア・つくば」を導入し、その有効性に関する実証実験を行うこととなりました。

<http://www.tsukuba.ac.jp/topics/20090721171136.html>

●「乗ろう鉄道、減らそうCO2」をテーマとしてポスターを掲出します【関西の鉄道事業者 15社局】

関西の鉄道事業者 15 社局は、共同キャンペーンとして平成 21 年 9 月 1 日(火)から 15 日(火)を中心に、「乗ろう鉄道、減らそうCO2」をテーマとしたポスターを提出します。より効果的に多くの利用客の理解・協力を得るため、15 社局が連携して共通のポスターを製作、掲出します。

<http://holdings.hankyu-hanshin.co.jp/ir/data/K1200908201N2.pdf>

●自転車共同利用実験「Poro-cle」の自転車利用モニター募集【株式会社ドーコン】

ドーコンは、学識者・民間企業と北海道モビリティデザイン研究会を結成し、これからの都市に必要な環境への配慮や都市内における放置自転車の社会問題解決等に向けた研究を始めました。その一つとして自転車を複数の人で共同利用する「コミュニティサイクル」を取り上げ、都市部への導入可能性を検証するため、札幌市内で「自転車共同利用実験（愛称：poro-cle）」を行います。

<http://www.docon.jp/news/contents/09080601.html>

●「急速充電器インフラ推進協議会（仮称）」の設立について【日産自動車株式会社、三菱自動車工業株式会社、富士重工業株式会社、東京電力株式会社】

日産自動車株式会社、三菱自動車株式会社、富士重工業株式会社、東京電力株式会社の 4 社は、国内における電気自動車の普及に必要な急速充電器の普及、および充電方式の標準化を図ることを目的に連携・協力する『急速充電器インフラ推進協議会（仮称）』を今年度内に設立することとしました。

[http://www.nissan-global.com/JP/NEWS/2009/\\_STORY/090805-01-j.html](http://www.nissan-global.com/JP/NEWS/2009/_STORY/090805-01-j.html)

●岡山県のバイオエタノール実証実験に参加【三菱自動車工業株式会社】

三菱自動車は、岡山県の「グリーンバイオ・プロジェクト」に関連して、エタノール 10%混合ガソリン(E10)に対応した実験車『MITSUBISHI E10 BIOETHANOL VEHICLE（バイオエタノール ビークル）』の国土交通大臣認定を取得しました。

<http://www.mitsubishi-motors.co.jp/publish/mmc/pressrelease/news/detail1962.html>

●渋滞緩和対策の効果事例について【東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社】

NEXCO 東日本／中日本／西日本(NEXCO3 社)は、高速道路での速度回復情報提供による渋滞緩和の効果事例をとりまとめました。この対策については、利用客に認識していただくことにより、より対策効果が高まるものと 3 社では考えており、広く周知を行って予定です。

[http://www.e-nexco.co.jp/pressroom/press\\_release/head\\_office/h21/0728/](http://www.e-nexco.co.jp/pressroom/press_release/head_office/h21/0728/)

---

#### 4. イベント情報

●北海道 EST 創発セミナー ～市民と協働した交通環境まちづくりを目指して～

日時:平成 21 年 9 月 17 日(木) 13:30～

場所:KKRホテル札幌「孔雀」

主催:北海道運輸局、EST普及推進委員会、交通エコモ財団

<http://www.estfukyu.jp/sohatsu8.html>

●東北 EST 創発セミナー =エコ通勤のすすめ= ～環境にやさしく、地域経済・社会を支える交通とは～

日時:平成 21 年 10 月 27 日(火) 14:00～

場所:仙台サンプラザ 1 階「パール」

主催:東北運輸局、EST普及推進委員会、交通エコモ財団

<http://www.estfukyu.jp/sohatsu9.html>

●中部 EST 創発セミナー ～全国へ発信！ESTの普及推進に向けた中部地方の取り組み～

日時:平成 21 年 11 月 25 日(水) 13:30～

場所:名古屋都市センター14 階「特別会議室」

主催:中部運輸局、EST普及推進委員会、交通エコモ財団

<http://www.estfukyu.jp/sohatsu10.html>

●地方圏生活交通の維持・再生における行政・事業者の役割と連携

日時:平成 21 年 8 月 25 日(木) 13:00～

場所:剛堂会館ビル・会議室

主催:(株)地域科学研究会

[http://www.chiikikagaku-k.co.jp/seminer/sub1\\_167.html](http://www.chiikikagaku-k.co.jp/seminer/sub1_167.html)

●第 84 回交通学講習会(大阪)「低炭素社会に向けた環境的に持続可能な交通(EST)のアプローチ」

日時:平成 21 年 10 月 2 日(金) 10:00～

場所:建設交流館 グリーンホール

主催:社団法人交通工学研究会

<http://www.jste.or.jp/Event/kosyu84.pdf>

---

## 5. その他

### ●記事募集中！

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。EST、または「交通と環境」に関連する取り組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。

→ E-mail: [EST@ecomoto.or.jp](mailto:EST@ecomoto.or.jp) (担当: 市丸)

---

発行: 環境的に持続可能な交通 (EST) 普及推進委員会事務局  
(交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<http://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

[http://www.estfukyu.jp/mailmagazine\\_cancel\\_form.html](http://www.estfukyu.jp/mailmagazine_cancel_form.html)

EST ポータルサイト: <http://www.estfukyu.jp/>